

令和4年度 日向市下水道事業会計決算の概要について

1. 総括

本市公共下水道事業は、昭和49年の着工、昭和62年の供用開始以来、衛生的で豊かな市民生活を支えるとともに、河川などの水質保全を図るため、下水道施設の整備とその適正維持に努めてまいりました。

本年度は、財光寺の往還地区及び切島山地区の下水道整備を進めるとともに、老朽化した汚水管路の更新工事を行いました。

また、供用開始から35年経過し、設備の老朽化が進む日向市浄化センター、富高、亀崎、細島ポンプ場について、事業費の平準化とライフサイクルコストの抑制を図るため、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、施設の長寿命化対策工事を行いました。

2. 業務状況

本年度末の処理区域内人口は34,786人で前年度に比べ198人減少、水洗化人口は32,373人で前年度に比べ126人減少しています。また、普及率は58.9%で前年度に比べ0.2ポイント増加、水洗化率は93.1%で前年度に比べ0.2ポイント増加しております。

なお、汚水処理水量は3,759,302 m³で前年度に比べ164,767 m³減少、有収水量は3,584,291 m³で前年度に比べ32,291 m³減少しております。

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率(%)
1. 行政区域内人口(人)	59,028	59,598	△570	△1.0
2. 処理区域内人口(人)	34,786	34,984	△198	△0.6
3. 普及率(%)	58.9	58.7	0.2	0.3
4. 水洗化人口(人)	32,373	32,499	△126	△0.4
5. 水洗化率(%)	93.1	92.9	0.2	0.2
6. 年間総処理水量(m ³)	3,759,302	3,924,069	△164,767	△4.2
7. 1日平均処理水量(m ³)	10,299	10,751	△452	△4.2
8. 年間有収水量(m ³)	3,584,291	3,616,582	△32,291	△0.9

3. 財政状況

(1) 収益的収支について

収益的収支（税抜き）については、事業収益は1,365,059,167円で、うち、下水道使用料は455,831,600円、長期前受金戻入は329,631,473円、一般会計からの負担金等が520,800,000円となっています。

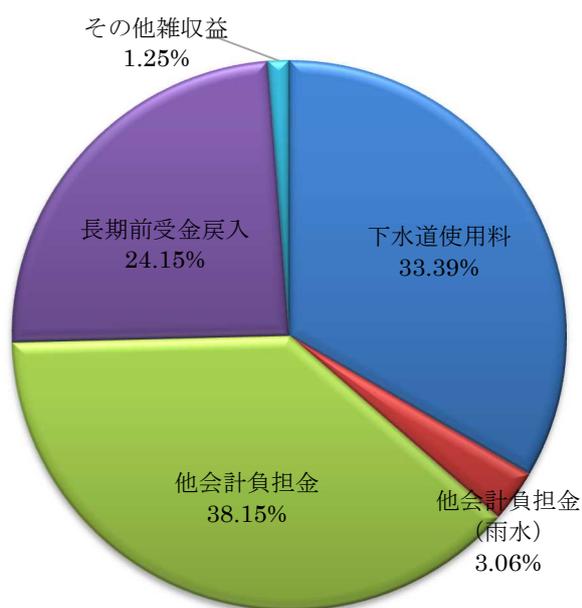
事業費用は、1,137,290,475円で、主な内訳は、減価償却費が710,671,187円、企業債の利息が89,791,009円となっています。

以上の結果、収益的収支差引では、227,768,692円の当年度純利益を計上しました。

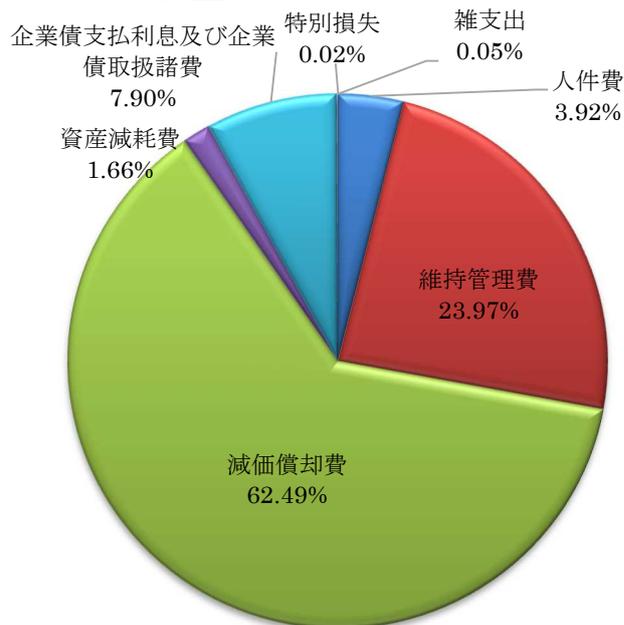
(単位：円、%)

区 分	令和4年度 (A)	令和3年度 (B)	比較 (A)－(B)	増減率
下水道事業収益	1,365,059,167	1,320,290,251	44,768,916	3.4
営業収益	514,278,818	518,667,765	△4,388,947	△0.8
営業外収益	850,780,349	801,622,486	49,157,863	6.1
特別利益	0	0	0	—
下水道事業費用	1,137,290,475	1,101,103,296	36,187,179	3.3
営業費用	1,046,777,573	993,865,583	52,911,990	5.3
営業外費用	90,305,909	106,873,725	△16,567,816	△15.5
特別損失	206,993	363,988	△156,995	△43.1

収益的収入 構成割合



収益的支出 構成割合



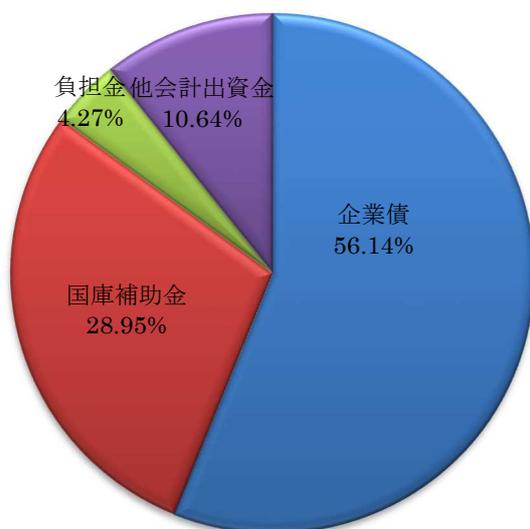
(2) 資本的収支について

資本的収支（税込み）については、収入額 819,849,351 円に対し、支出額 1,428,220,751 円で差し引き収支不足額は、608,371,400 円となり、不足額は、損益勘定留保資金等で補填しております。

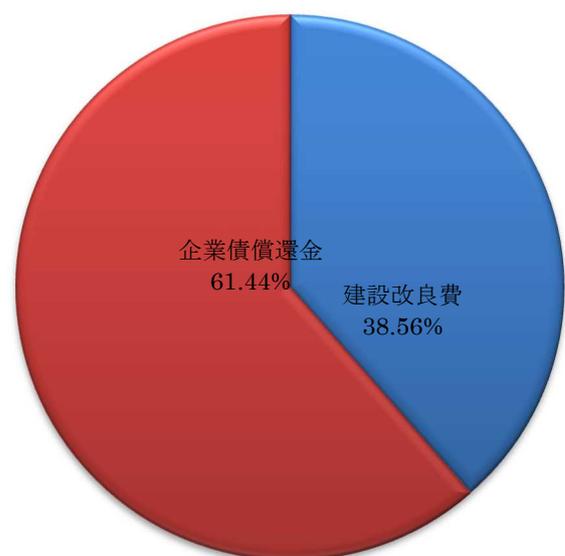
(単位：円、%)

区 分	令和 4 年度 (A)	令和 3 年度 (B)	比 較 (A) - (B)	増減率
資本的収入	819,849,351	682,489,060	137,360,291	20.1
企業債	460,300,000	415,000,000	45,300,000	10.9
国庫補助金	237,332,000	161,856,000	75,476,000	46.6
負担金	35,006,351	15,856,060	19,150,291	120.8
他会計出資金	87,211,000	89,777,000	△2,566,000	△2.9
その他資本的収入	0	0	0	-
資本的支出	1,428,220,751	1,292,272,920	135,947,831	10.5
建設改良費	550,715,898	384,857,870	165,858,028	43.1
企業債償還金	877,503,777	907,413,968	△29,910,191	△3.3
投資その他の資産	1,076	1,082	△6	△0.6

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



4. 企業債の状況

下水道を建設するためには、多額の費用を要するため、市の単独予算ではまかないきれません。そこで、企業債（地方債）を発行することにより、資金を調達し、事業に充当しています。

令和4年度は、460,300,000円の企業債を発行し、877,503,777円を償還した結果、返済を終えていない企業債残高（企業債未償還残高）は、7,930,943,968円となっています。

企業債残高は縮減傾向にありますが、引き続き、企業債の適正な発行と償還を行っていく必要があります。

令和4年度企業債状況表

(単位：円)

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
下水道事業	8,348,147,745	460,300,000	877,503,777	7,930,943,968

